



2021 年 3 月 1 日
株式会社ロゼッタ

ロゼッタが全社員に英語禁止令

株式会社 MATRIX（本社：東京都新宿区 代表取締役：五石 順一）は先週 VR（仮想空間）において外国語が話せなくても自由に会話できる「言語フリー空間」について発表しましたが、その後パソコンとスマホでも同様に言語フリーでのリモートミーティングを行う実験に成功しました。これを受け、ロゼッタグループでは、3 月 1 日付でグループ全社全社員に対して英語を話すことを全面禁止する「英語禁止令」が発令されました。

勤務中に日本人社員が英語を話すこと、外国人社員が日本語を話すことを一斉に禁止し、会話するときにはパソコン・スマホ・VR 内の「言語フリー」スペースで行うことになります。

以下はグループ社員向け「英語禁止令」の実際の文面（原文ママ）です。

=====

英語禁止令（外国語禁止令）

感無量です。

創業から 17 年、ついにこの日がやって来ました。

今ここに高らかに宣言します。

我々はついに言語的ハンディの呪縛から解放されました。

「言語フリー」の世界が実現しました。

長年に渡って人類を分断し続けた言語の壁は、今ここに崩壊したのです。

3 月 1 日から、グループ全社全部門において、工作中で、

内外の（社内だけではなく外部の接客・商談であっても）外国人と話をする時に

日本人社員が英語および中国語を話すことを禁止します。

外国人社員が日本語を話すことも同様に禁止します。

つまりみんな母国語だけ使って話をするのです。

英語の会議で半分くらいしか理解できなかったり、

英語だけ話せて仕事ができない人に担当させたり、

仕事ができる人が英語を話せないだけで外されたり、

一見日本語ペラペラの中国人が全然分かってなかったり、

日本語が話せないエンジニアを採用できなかったり、

語学ができるがゆえに本職じゃない翻訳をさせられたり、

長年続いた暗黒時代は終わりました。

外国人との会話は、WEB上の言語フリー部屋で行ってください。

VRでなくてもいいです。PCやスマホからでもワンクリックで入れます。

英語だろうが中国語だろうが日本語だろうが、本人の母国語だけで話すことができます。

今こそ目が覚める時です。

人種や性別とまったく同じように、英会話力など、本業の能力とは何の関係ありません。

英語ができる無能な人が重宝され、本当に実力のある人々が抑圧される暗黒時代はもう終わったのです。

英語ができないだけで不遇な目に会っていた、優秀で素晴らしき人達。あなた方はついについに、檻から解放されたのです。自由に、羽ばたいてください。思う存分、きらめいてください。

また、たまたま語学ができる人に、本業と関係ない翻訳仕事を依頼するのも無しです。

* 本当にネイティブ並みに話せる人もいるにはいるので、代表承認を得ることで外国語を話すことを例外的に許可します。該当者は外国語使用許可の申請を行ってください。



株式会社ロゼッタ（コード番号:6182 東証マザーズ）

所在地:東京都新宿区西新宿 6-8-1 オークタワー23F

代表取締役:五石 順一

事業内容:超高精度 AI 自動翻訳の開発、販売等

URL:<https://www.rozetta.jp>

お問合せ先

■報道に関するお問い合わせ

IR部 :村井

E-mail:ir@rozetta.jp